

〔概 要〕

市民表彰は、大阪市表彰規則に基づき、昭和41年にその基準を定め、毎年1回実施している。

表彰は、公益の増進、産業の振興若しくは学術、文化の向上発展に顕著な功績のあった方、又は市民の模範となるすぐれた善行のあった方を顕彰することを目的としている。

〔表彰を受けられる主な方々〕

○文化功労

・飯森 範親さん

多年にわたり、指揮者として活躍し、いずみシンフォニエッタ大阪の常任指揮者及び日本センチュリー交響楽団の首席指揮者として、オーケストラの活動発展と水準の向上に務めるなど、大阪の芸術文化の振興と発展に貢献した。

・イケ ミチコさん

多年にわたり、現代美術作家として活躍し、国内外の展覧会に出品するほか、大阪市内のアトリエを「イケミチコ Studio」として開放し、大阪の地でアートによる生きる喜びと希望を発信するなど、大阪の芸術文化の振興と発展に貢献した。

・内海 英華さん

多年にわたり、上方落語に不可欠の寄席三味線の第一人者として、寄席や落語会などで活躍するほか、女楽道と呼ばれる三味線漫談を大阪で唯一継承するなど、大阪の大衆文化の振興と発展に貢献した。

・大木こだまひびき

大木こだまさん、大木ひびきさん

多年にわたり、大阪を中心に活躍し、しゃべくり漫才の継承者として定番のネタやギャグで人気を博しており、ベテランの域に達した現在も、鮮度を失わない安定した笑いを提供するなど、大阪の大衆芸能の振興と発展に貢献した。

・岡本 義秀さん

多年にわたり、関西で舞台製作業務に従事し、国立文楽劇場においては、文楽・歌舞伎・日本舞踊などの伝統芸能の舞台設計や大道具製作を担い、加えて文楽の地方公演にも携わるなど、大阪の芸術文化の振興と発展に貢献した。

・九鬼 葉子さん

多年にわたり、演劇の評論活動を通じて関西の演劇を後押しするとともに、「関西えんげき大賞」を設立して、大阪を中心とした関西の演劇文化を広めるなど、大阪の芸術文化の振興と発展に貢献した。

・芝川 能一さん

多年にわたり、住之江区北加賀屋を創造性溢れるまちに変えていく試みや大大阪時代の名建築芝川ビルの保存・活用など自社保有資産を活かしたまちづくり活動を行うなど、大阪の地域文化の振興と発展に貢献した。

・積山 洋さん

多年にわたり、大阪市の遺跡発掘に携わるとともに、東アジアの都城の展開の中で難波京・難波宮に関する著作や論文を執筆、難波京・難波宮を東アジア全体の中で位置づける研究に取り組むなど、大阪の学術文化の振興と発展に貢献した。

・豊澤 富助さん

多年にわたり、人形浄瑠璃の文楽三味線奏者として活躍し、奥深く迫力のある演奏により、太夫節の魅力を広く知らしめるとともに、海外で数多くの素浄瑠璃公演を行うなど、大阪の芸術文化の振興と発展に貢献した。

・藤山 直美

多年にわたり、上方人情喜劇を体現する貴重な俳優として、大阪弁を駆使した人情喜劇のヒロインを数多く勤め、奥深い人間描写と抜群の間で、人々に涙や笑いを届け続けているなど、大阪の芸術文化の振興と発展に貢献した。

をはじめ計 67 名を表彰する。